

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	119 (回答者数)	38
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性やペースに寄り添った丁寧で共感的な支援を行っており、安心して通える環境づくりができています。	玩具や備品の定期点検・清掃消毒、排泄確認の徹底、空間の安全配慮や利用時間の調整など、安全・衛生面の管理を計画的に実施している。	お迎え時の伝達の統一や日々の様子の簡潔な共有など、保護者への情報提供の質と公平性の向上。
2	おたより・面談・保護者参加日・送迎時の対応等を通して、保護者との関係性を大切にし、日常的なやり取りや情報共有を継続している点。	子どもの成長段階や課題の見立てを面談や登園日等で共有し、活動内容の工夫や日々の様子の伝達など、家庭との連携を意識した支援を行っている。	半日登園クラスにおける訓練・説明機会の充実や、保護者同士が悩みや困りごとを共有できる交流機会の充実。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の様子や成長段階・支援の見立てについて、保護者への説明や伝達にばらつきがあり、十分に伝わっていないと感じられる場面がある点。	送迎時の口頭伝達や個別説明の時間確保が難しくなり、情報共有の差が生じやすくなっていること。	連絡方法や伝達内容の標準化(記録様式の統一、短時間でも必ず様子を共有する仕組みづくり)により、保護者への情報提供を高める取組
2	トイレスペースの狭さや外遊び環境、環境面・提供機会において一部保護者の不安や物足りなさが生じている点。	施設構造(トイレ共有・園庭の制約等)やクラス形態により、活動環境や訓練・説明機会の充実に限界があること	保護者への見立て・目標説明の定期的な機会設定や情報提供の強化、環境面(運動機会・空間活用)の工夫による支援内容のさらなる充実。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター青い鳥

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 119

回収数 38

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	1	0	0	●個人的な意見になりますが、我が子は外で遊ぶのが大好きなので、そういった環境が欲しかったと感じました。(既にある場合はお返さず) ●お返事に応じて早速変更を検討するつもりです。また、お返事という機会を大切に感じたいです。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。	●お返事できる環境やお返事は、 → 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。 → 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	3	0	0	●2つのクラスで一つのトイレスペースを使用しているため、トイレの混雑が心配です。 ●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。	→ 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。 → 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	37	0	0	1	●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。	→ 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1	0	0	●お返事(アンケート)は、お返事いただいたお返事に対してお返事させていただきます。	→ 各個人の活動や遊びの場を計画していく。今後もお返事を大切にしていきたいと考えています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	2	0	1	●親に対して支援者から見た子供の成長段階や次のステップへの見立てや課題を簡単に説明いただくと、親自身も普段の生活から子供に働きかけることができて相乗効果が期待できるのではないかと感じている	●子どもの成長段階や次のステップについて説明してほしい → お子さまの成長や課題について、より分かりやすくお伝えできるよう、面談や面談日を通して見立てや目標を共有してまいります。 ●その日の様子を知りたい → 日々の様子について、短いコメントでもお伝えできるよう工夫し、ご家庭と情報共有を充実させてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1	0	2	●子どもが楽しめる活動プログラムをよく考えてくださっていると思います。	●うちしたまま帰ることがある → 不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。担当職員とお互い交換の時間を設けて職員間で共有いたします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36	1	0	1	●その日の活動の様子や、帰宅したあとにわからないので、一言だけでも構わないのでその日の様子が知りたい。	●うちしたまま帰ることがある → 不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。担当職員とお互い交換の時間を設けて職員間で共有いたします。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	2	0	2	●いつも寄り添っていただきありがとうございます	●うちしたまま帰ることがある → 不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。担当職員とお互い交換の時間を設けて職員間で共有いたします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	0	4		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	19	2	9	8		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	1	0	0	●おたより、面談、保護者懇話会、電話等で丁寧にやりとりしてくださっていると思います。いつも共感的に支援してくださり、ありがたいです。	●保護者懇話会の懇話会で悩み等も交流したい → 貴重なご意見をありがとうございます。活動報告に加え、日頃の悩みや困りごとを共有できる時間を設けるなど、保護者同士が安心して交流できる機会づくりを検討してまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1	0	0	●月に一度の保護者参加日の懇話会で、その日の活動についてだけでなく、日頃の悩みや困り事などを交流できる機会になるといい。	●お迎え時の様子の伝達に差があるように感じる → 不安なお気持ちにさせてしまい申し訳ありません。お迎え時の情報共有に差が生じないよう、伝達方法を統一し、どのご家庭にも公平にお伝えできる体制を整えてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	2	0	3	●お迎え行くと今日の様子を軽くお話ししてくれるみたいですが人数が増えたためなくなると聞いてましたが他のママさんにはお話しする様子がありますが私にはないです。ある人ない人の差はなんでしょか	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	33	5	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	0	0	0		
保護者 への 説明 等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	3	2	10		
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2	0	2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	1	1	3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	1	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	2	0	7	
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	0	12	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2	0	4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	0	5	
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	1	0	0	
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	4	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	1	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月20日			
児童発達支援センター青い鳥					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0	●清潔な環境になるよう掃除を徹底し、クラスのロッカー等の整理整頓を心がけている。 ●利用者の方が清潔で、心地よく過ごせる環境になるよう、毎日の掃除を丁寧に行うことを心がけています。	●落ち着ける場所や気持ちをクールダウンできる場所がもっとあってほしいと思いました。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	3		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	●日々の保育の中で気がついたことや疑問点等を共有するように心がけています。 ●非常勤もクラス会議や内部研修に参加出来るように配慮して下さっている。日々の保育に活かせるようにしていきたい。 ●保育後同じクラスに入った職員同士で意見を言う時間を設けています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動内容は子どもたちの様子や興味のあるものを取り入れながら考えるようにしています。</li> <li>●クラスの担任と連携をとって、連絡事項など把握出来るように声を掛け合っている。活動プログラムの内容を、同じクラスに入っている職員同士で相談して決めています。</li> <li>●児の変化や全体の様子を話し合っている。次回は〇〇くんの好きな歌で引きつけよう、〇〇ちゃんの机と壁の距離を少しづつ離してみよう等少しづつ支援に変化をつけている。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電話連絡や保護者登園日の際にお子さんの様子や課題等を適切に伝えられるように、内容や伝え方は共有しながら行うようにしています。</li> <li>●こどもの状況を保護者に伝え、発達の状況や課題について共有しています。</li> <li>●親子では、療育の中で『褒める』を大切にしたい関わりを意識できるように声かけや、指示物の用意。振り返りの中で、保護者の思いを聞き合う場を設定。陽光園月一回連絡を入れ、児の家庭での取り組みや様子を伝えている。専門家のご意見を伺い、今後の支援に繋げるよう担任間で共通理解をもつようしている。</li> </ul>	●非常勤は関わっていないことが多いのでわかりません。保護者に子どもの様子を伝えることは、保護者登園日の時にしています
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を築いているか。	13	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	2		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●非常勤は直接保護者と話す機会は少ないので、保護者登園日の時にお子さんの様子をお話したり、保護者からのお話を聞いたりする中で気になることがあれば担任に報告し、支援に繋ぐことが出来るように配慮している。</li> <li>●行事担当として、保護者の個人情報などを取扱う時には、漏洩の可能性があるよう慎重に取り扱いました。</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●月に一度の避難訓練の際には迅速な行動を心がけて、お子さんや職員の安全を守れるようにしています。</li> <li>●避難訓練では事故の種類や場所など、実際の発生を想定しながら参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●送迎中の非常時の対応について（災害があった時、子どもが急病等）把握しきれていない部分があるので、きちんと対応出来るようにしていきたい。</li> </ul>
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安全で清潔な環境整備が徹底されており、保護者が安心して利用を任せられる体制が整っている	定期的な面談や見学会の実施、随時相談対応など、保護者との信頼関係構築と情報共有を意識した支援を行っている	日々の活動内容や食事・生活の様子をより具体的に伝える情報共有手段(連絡帳・アプリ等)の検討
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の活動や食事状況等の情報共有の方法が十分とは言えず、保護者が子どもの具体的な様子を把握しにくい点がある	保護者への情報伝達手段が口頭・面談中心となっており、日常的かつ具体的な記録共有の仕組みが未整備であること	日々の様子・食事・活動内容等を分かりやすく伝える仕組みの強化
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス青い鳥

公表日 令和7年2月20日

利用児童数 53

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境はとても整っているなど感じています。</li> <li>●清掃が行き届いていつも綺麗です。安全にも配慮されて安心してきます。</li> </ul>	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今のまま継続してください</li> <li>●定期的に見学会があり活動の様子がみられるのが良いです。</li> </ul>	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	3	11		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●連絡帳等で月1くらいで子どもの様子を教えてもらえたら嬉しいです。一日の時は給食の食貝具合が知りたいです。</li> <li>●面談の時には具体的にアドバイスをくださり助かりました。</li> <li>●こどもが発語がなく意思や出来事を伝えることが難しい場面もあると思うので、保護者から伝えられる三二連絡帳やアプリがあると尚良い</li> <li>●定期的に面談が行われています。また心配事があった場合はいつでも相談に果っていただき助けてくれて感謝しています。</li> </ul>	●日頃の様子や食事の様子等伝える方法を充実してほしい →ご意見ありがとうございます。日頃の様子や食事の様子などを保護者に伝える方法を検討させていただきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	2	5		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	3	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	1	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●非常時に遭遇したことがないので、分からないことが多いです。</li> <li>●一度非難訓練を受けたことがあるが、分かりやすい指示で迅速で安全に行動出来たので継続してほしいです。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	9	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	5	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●このタイプは安心して利用しています。2名までなので静かです。</li> <li>●いつも楽しんでいるので、満足しています。</li> <li>●学習、運動のプログラム、絵画、音楽の活動に積極的に取り組んでいるので、学習意欲も高まっています。</li> <li>●目標に向かって子どももよく頑張っている。子どもも楽しく通っており、満足しています。数を減らせば、小学校程度まで通えるようにしてほしいです。</li> <li>●個別も行ってみたいという声。</li> <li>●先生も通わせてくださっていて、感謝しております。</li> <li>子ども通所が、土日・金曜日の場合は、1日通所する方が増え、親子共に疲れて通所することが出来ず、ほぼ大泣きと、ひとっぴら。</li> <li>●非常時、防犯訓練やサービスで通所することが出来るようになってきたこと。</li> <li>大泣きするにつれて物足りなくなるとも思いますが、我が家のようにまだ通所したい子どももいると思うので。</li> <li>子どもの状況に合わせてもう少し大きくなって通所できれば、本当にいいです。</li> </ul>
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	2	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス青い鳥					公表日 令和8年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
適切 な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個人が好きな活動を選択できるようにコーナー遊びを設定。感触遊びコーナー、指先を使う玩具コーナーなど、空間の構造化を行っている。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	学期に一回、療育参観週間を設定。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	配慮が必要な保護者へは、手紙を手渡したり、電話連絡をする。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		0
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		0

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの様子を丁寧に観察し、その日の体調や気持ちに寄り添った個性の高い支援を実施しており、安心感や信頼関係の構築につながっている点	支援内容や訪問頻度の説明、相談対応を丁寧に行い、保護者や関係機関が安心して利用できるよう配慮している。	園生活における環境設定や具体的対応について、専門的視点からの助言や提案をより積極的に行い、訪問支援の専門性を一層強化する。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援において、園生活の環境設定や具体的対応に関する専門的な助言・提案が十分に伝えきれていない場面がある点。	訪問支援の目的が「情報共有」として受け取られやすく、専門的支援機能の役割が十分に周知されていないこと。	訪問時に環境設定・関わり方・支援方法について具体的な助言を行い、書面やフィードバックとして明確に提示する仕組みを整える。
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター青い鳥

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 23

回収数 23

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	0	0	11	●保育所等訪問支援の説明や頻度などの相談も丁寧に行われています。 施設も広く、怪我をしないように随所に配慮いただいているので安心して預けています。 ●先生もよく子供を見てくださっているのがありがたいと思っています。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	23	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	23	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20	1	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	22	1	0	0	●よく子供を見ていただき、その日の体調や気持ちに寄り添った支援を頂けています	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	20	1	0	2		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	1		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1		
保護者 への 説明 等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	20	1	0	2	●保育所等訪問支援後に、様子などを細かく共有してくださっています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	1	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	0	3		
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	20	1	0	2		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	20	0	0	3	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	23	0	0	0	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	7	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	1	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	17	1	0	5	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いつも丁寧に子どもを見てくださり、ありがとうございます。</li> <li>●3年間見ていただき、成長を感じます。なにより子供が、先生たちと信頼関係を結び、安心して遊んでいることがありがたいです。満足しております。</li> </ul>
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18	1	1	2	
	28	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	

事業所名		公表日				令和8年2月20日	
児童発達支援センター青い鳥		配布施設				9施設 回収数 10	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	1	0				
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	1	0				
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1	0				
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	0	0				
5 事業所からの支援に満足していますか。	8	2	0				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>●悩みを共有させてもらえたり、話をさせていたことで安心させてもらえるので感謝しております。もっと来てくださるとすごうれいです！</li> <li>●これまで療育に対する保護者の方の理解が得られないことも多くありましたが、いろいろ相談に乗っていただき、分かりやすくなったと感じています。ご提案いただく内容に利用者への配慮を感じ、私共も学ばせていただくことが多いです。</li> <li>●今回、発表会に参加できない事を相談させて頂きました。忙しい中ご連絡下さり、一緒に考えてくださいました。また答えは出ずですが、私達が考えている事に「ありがとうございます」という返答を頂き背中を押された気持ちになりました。また、保護者とも青い鳥さんでの姿を共有できていて、本児の成長も共に感じている所です。今後ともよろしくお願い致します。</li> <li>●ずっと訪問して見たいと思っていたので実現し良かったです。</li> </ul> <p>施設内はとても開放的で庭のビオトープをはじめ屋上はとても良かったです。子どもたちが屋上を走り回る姿が目に見えました。1日の活動内容も明確に示されわかりやすく自閉でも真似して見たいと思いました。情報共有のためにもお互いの施設を見学することはとてもお互いにも良いことだと思います。今後とも宜しくお願い致します。お忙しい中ご対応いただきありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●双方の施設での子どもの姿や保護者の考えや希望を共有でき、これからの子どもの未来にとってどうしていったらよいか話す機会になり、とても有意義でした。</li> <li>●通所しているお子さんの現状の姿を、園と青い鳥さんと共有することは出来ていると実感しています。また、園生活の中での環境設定や対応に関するアドバイスについてはこれまであまり頂けた事がないので、今後の訪問支援では専門的な視点での意見を頂けると有難いです。(園の提えとしてもこの訪問支援が、子どもの現状の姿を施設間で共有し合うものと認識していた為質問も多くしておりませんでした。次年度以降機会があれば、こちらからも現状の疑問や困り事をお伝えしていきます。)</li> <li>●保育士にたくさんアドバイスをいただき、助かっております。</li> </ul> <p>保育の様子を見ていただき、プロの方から「保育園がこの子にとっての心地よい場所になっていますね。」とお話をいただき、職員が喜んでいました。</p> <p>引き続きよろしくお願い致します。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●園生活の中での環境設定や対応に関するアドバイスについてはあまり頂けた事がない→貴重なご意見ありがとうございます。環境設定や対応について保護者や訪問先のニーズに沿って必要な情報交換や情報提供できるように工夫していきます。</li> </ul>			

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名		公表日 令和8年2月20日				
児童発達支援センター青い鳥						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 設備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観察が中心なので教具、教材の使用はほぼありません。状況に応じて、訪問先の先生に古い物で使っているものを紹介しています。</li> <li>●訪問時には過去の記録を持ち、すぐに確認できるようにしています。</li> <li>●サービス利用者的人数に対して、職員が少ない。(利用者は担任が交互に訪問に出向くとより良いのか。卒園児対応の担当職員等振り分けられるとよいのですが)</li> </ul>	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員の知識を増やすために、外部での研修に参加しました。そこで学んだことを職員に共有し、療育に活かしています。</li> </ul>	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所等訪問に行った際にはすぐに記録に残し、支援の改善に努めています。</li> </ul>	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	●訪問先の施設の職員の方と、こどもの日々の様子や課題点を共有しています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	●訪問先でのこどもの様子を正確に伝えられるように、起こっていることを細かく記録しています。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	●訪問者の力量、知識に差がある為、個々の力の向上に向けての取り組みが必要な部分があると思います。 ●若い鳥での様子や対応方法を伝え、信頼関係を築きながら情報の共有をしています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	●虐待防止の研修を受けることで、様々な虐待について学ぶと同時に、自身の支援を振り返る機会になっています。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	